

平成30年度東日本大震災復興特別会計における 農林水産関係予算概算要求の重点事項

総額 1,668億円
(1,562億円)

(※) 各事項の下段()内は、平成29年度当初予算額

1 復興まちづくり

- | | |
|--|------------------|
| ① 災害復旧事業 | 812億円
(839億円) |
| ・ 東日本大震災で被災した漁港施設、海岸保全施設、農地・農業用施設、治山施設等の復旧を引き続き重点的に推進 | |
| ② 農山漁村整備 | 245億円
(247億円) |
| ・ 被災地域の農地・農業用施設等の生産基盤の整備、拠点漁港における生産基盤の整備を推進 | |
| ③ 森林整備事業 | 67億円
(59億円) |
| ・ 放射性物質を含む土砂の流出防止を図るため、間伐等へ支援し、特に放射性物質の影響等により森林所有者自らでは整備が進めがたい森林の路網整備等を市町村等が推進 | |

2 産業・生業（なりわい）の再生

- | | |
|---|----------------|
| ① 災害関連融資 | 37億円
(74億円) |
| ・ 被災した農林漁業者等の復旧・復興の取組に対して金融支援を実施 | |
| ② 東日本大震災農業生産対策交付金 | 37億円
(26億円) |
| ・ 東日本大震災からの本格復興に向けて、生産力、販売力を回復するために必要な共同利用施設の復旧等の取組を支援 | |
| ③ 福島県営農再開支援事業 | 142億円
(-) |
| ・ 除染後の農地の保全管理、作付実証、放射性物質の吸収抑制対策、新たな農業の転換等の営農再開に向けた一連の取組を切れ目なく支援 | |
| ④ 福島県農林水産業再生総合事業 | 50億円
(47億円) |
| ・ 福島県の農林水産業の再生に向けて、GAPの取得支援や農林水産物の販路拡大と需要の喚起など生産から流通・販売に至るまで、風評の払拭を総合的に支援 | |

- | | |
|--|-------------------------------|
| <p>⑤ 里山の再生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難指示区域等における林業再生に向けた実証等を実施 | <p>34億円
(34億円)</p> |
| <p>⑥ 復興水産加工業等販路回復促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災地の水産加工業の販路回復に必要な個別指導、セミナー等の開催、販路回復等に必要な加工機器の整備等を支援 | <p>15億円
(15億円)</p> |
| <p>⑦ 食料生産地域再生のための先端技術展開事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災地域の状況変化等によって生じた技術的課題を解決するための現地実証を実施するとともに、研究成果の社会実装を促進 | <p>9億円
(11億円)</p> |
| <p>⑧ 福島イノベーション・コースト構想関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福島イノベーション・コースト構想を実現するため、先端農林業ロボットの開発、水産試験研究拠点の整備を支援 | <p>5億円
(4億円)</p> |

3 原子力災害からの復興・再生

- | | |
|--|-------------------------------|
| <p>① 福島県営農再開支援事業（再掲）</p> | <p>142億円
(-)</p> |
| <p>② 福島県農林水産業再生総合事業（再掲）</p> | <p>50億円
(47億円)</p> |
| <p>③ 里山の再生（再掲）</p> | <p>34億円
(34億円)</p> |
| <p>④ 安全な木材製品等流通影響調査・検証事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消費者に安全な木材製品等を供給するため、木材製品等の放射性物質に関する調査・分析、放射性物質測定装置の設置等による安全証明体制の構築を支援 | <p>7億円
(1億円)</p> |
| <p>⑤ 福島イノベーション・コースト構想関連事業（再掲）</p> | <p>5億円
(4億円)</p> |